

●府民の森ひよし

<p>前回検証結果</p>	<p><b>継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複合的な施設利用を検討し、利用者の拡大を図る取組を実施すること。</li> </ul>
<p>対応・改善策実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンプ場やドッグランの利用客が増加しており、ペットとの宿泊や学生ゼミの誘致といった複合的な利用促進のための施設整備を行い、平成30年度にリニューアルオープン。</li> <li>リニューアル後もより幅広い年代層や訪日外国人旅行者等のニーズに対応するための施設整備など、施設利用率の向上や選ばれるキャンプ施設を目指した取組を実施。</li> <li>リニューアル時には、チラシを作成し近隣の教育機関や地元住民への各戸配布などを実施。</li> </ul> <p><b>【H29 実施】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①電気の使えるキャンプ場 10 区画及びペットと泊まれるキャンプ場 10 区画を新設</li> <li>②露地キャンプ場 10 区画及びキャンプ台付き 10 区画の拡張（テントサイトを6m×6mに拡張）</li> <li>③キャビンのデッキ部分を拡張し、机を配置</li> </ul> <p><b>【H29～R2 実施】</b></p> <p>園内の体験の森や散策の森に親しめるよう、京都府内産木材を活用した手すりや階段の改修など散策路を整備</p> <p><b>【R元実施】</b></p> <p>森の資料館や体験の森、散策の森の利用者トイレを和式から洋式トイレに改修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により利用者減となったが、テント泊等の需要が高まっていることから、感染防止の対策を徹底しつつ、屋外施設という強みを生かして更なる利用者増を目指していく。</li> </ul>
<p>取組の結果</p>	<p>◇平成30年度のリニューアル以降、利用者数、キャンプ場の利用率が増加。</p> <p>平成30年・令和元年度の年間利用者数は約5万7千人であり、目標の5万5千人を達成。</p> <p>リニューアル前の平成29年度と比較し、令和元年度は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数が約22%増加</li> <li>・キャンプ場の利用率が約12%増加</li> </ul>
<p>なお残る課題・問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国定公園に指定された森林や、恵まれた自然環境に囲まれ広大な敷地を有する施設の効果的な利活用。</li> <li>◆サイトの広さが好評のキャンプ場（利用率は増加）と、大人数で使用するメインキャビン、サブキャビン（利用率は横ばい）の更なる利用者の拡大。</li> </ul>

<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<p>□施設の利用状況から、あえて研修施設としてのアピールではなく、近隣類似施設に負けない魅力的な「キャンプ場」としての商品価値を更に高めてはどうか。</p> <p>□立地、地形からすると、類似施設を参考とすれば、もっと設置目的を高いレベルで達成できる開発・改善が期待できる。</p> <p>□スプリングスひよしなど魅力ある近隣施設と連携し、エリア一帯での利用向上につながる施策が必要である。</p> <p>□施設利用度を向上するためにもトイレ等施設の整備はしっかり実施されたい。</p>
<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<p><b>継続</b></p> <p>◎施設の魅力の更なる向上や新たな利用者層へのアプローチにより、設置目的である森林への理解を深め、自然と触れ合う場を提供することに関し、より高いレベルでの達成を図ること。</p> <hr/> <p>&lt;今後の対応&gt;</p> <p>○施設の魅力向上については、広大な森林の中で、散策や林業体験などを楽しむことができるフィールドの整備や、周辺施設と連携した多様なプログラムの提供など、利用者の満足度を高める取組を進める。</p> <p>○新たな利用者層へのアプローチについては、家族や少人数での利用に加え、企業や教育機関での研修など、多様な活用方法をSNSなどを利用して情報発信していく。</p>